2010 サマーキャンプ報告

日本の歴史と伝統

8 月２３(月)から２６日(木)にかけて、今年もサマーキャンプを開催いたしました。

サマーキャンプの目的

日本語を話そう！
語彙を増やそう！
日本文化（歴史と伝統）を体験しよう！
アイデンティティを養おう！

と、目的は大きく持ち、低学年担当の近藤先生と高学年担当の長倉、ともに頑張りました。みんなそれなりに、日本の豊かな昔からの文化を感じてもらえたのではないでしょうか。

キッチン担当のジャクソンさんは、毎日ミレットから自宅の農場でとれた野菜を持参して、毎日美味しいランチやおやつを作ってくださいました。最初の日は、昔お米を食べられなかったお百姓さんなどが食べた粟の試食もしてみました。

三日目は EJCA 会館が借りられないので、相田さん宅をお借りしました。ランチはおもち。高学年は枝豆をすりつぶしたあんで「ずんだもち」を作ってみました。相田さんの茶道のお道具を借りて、茶道のお手前を拝見、みんなでお菓子の取り方、お抹茶のいただきかたを練習し、低学年がお客様になって、高学年のたてたお茶を味わいました。にがいかなと思いきや、おかわりをする子も。

低学年は、日本の行事・文化を中心に行いました。カナダの生活では、つい面倒臭くなり、なかったことにしがちな（私だけ？）行事を楽しみました。「正月」では、凧あげ、こま回し、はねつきをしました。「節分」では、鬼を追い回して豆まきをし、「七夕」では、笹飾りを作りました。「お月見」では、お月見団子作りにも挑戦しました。一番楽しかったのは、「夏祭り」！昔ながらの遊びをお店にしてお店やさんごっこを楽しみましました。そして、忍者にもなりきりましたよ。今回参加してくれた生徒達が「やっぱり日本って楽しいね、最高だね。」と思ってくれたら幸いです。

高学年は、弥生時代、古墳時代、平安時代、江戸時代、現代、未来をスライドやビデオで見た後、自分の歴史表を作ってみました。難しいかなと思いましたが、みんな期待以上の個性のある歴史表ができましたので、ここに一部載せました。

お手伝いくださったジャクソンさん、元田先生、朝居さん、星さん、ボランティアの庄司さん、ありがとうございました。

夏休みは、普段できないことをやるチャンス。旅行、泊り込みのサマーキャンプ、いろいろな選択があります。日本語学校のサマーキャンプも是非その選択肢に入れてください。たくさんの生徒さんが参加すると、もっといろいろなことができ、とても充実した日本語学習の場になると思います。それには、みんなが参加できるようなキャンプ作りが課題ですね。また、皆さんの中には隠れた（というか、私たちの知らない）才能をお持ちの方もいらっしゃるのではないでしょうか。是非、参加またはお知恵を拝借して、バラエティに富んだサマーキャンプを企画できることを期待しています。

日和の歴史を知ろう
おにぎり
田子の浦ゆ
うち出でて見れば
ま白にそ
富士の高嶺に
雪は降りける
山部赤人
日本の歴
カまくら時代
1192年～1337年